
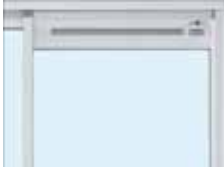


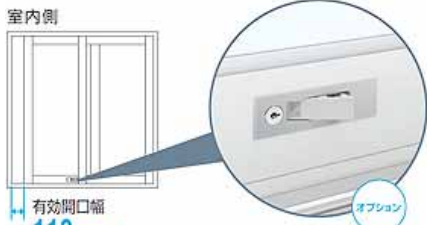



最終更新日 H24.10.24

改修技術 No. 12301001

性能分野	環境・省エネルギー性能
大分類	通風性の向上
中分類	窓の通風性の向上
技術の名称	通風・換気機能付建具の採用
改修技術の概要	<p><b>【改修工事の主な内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然風の利用は、夏期夜間や中間期において積極的に外気を取り入れ、室内から排熱することで、空調に依存しすぎることなく快適な室内温熱環境を実現し、冷房エネルギー消費量を削減できる。</li> <li>・外気を効果的に取り入れるためには「入口」と「出口」が必要。外部に面した開口部を方位の異なる2面以上に設けることにより、自然風をより効率的に利用できる。</li> <li>・風の「入口」と「出口」を設けても、室内に風の通り道を確保しないと通風は十分に得られない。できるだけ間仕切り壁の少ない開放的な間取りとして、内部建具を工夫する必要がある。</li> <li>・ただし、自然風利用のための開口を設けることは、防犯や騒音、耐風など他の面でマイナスになる場合もあるので住宅の安全性・快適性を損なうことのないよう計画する必要がある。</li> <li>・夜間には、窓が開いた状態での防犯、騒音への配慮が必要となる。</li> </ul> <p><b>【各工法の特徴】</b></p> <p>通風・換気機能付サッシの採用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障子を閉めた状態で換気を行うことが可能なサッシの部材には、換気かまち、換気小窓、スリット型自然換気窓などがある。サッシの取替え時に取付けることができるが、障子の取替えで取付け可能な場合もある。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>換気小窓 &lt; 出典：YKK AP(株) &gt;</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>換気框</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>スリット型自然換気窓 &lt; 出典：三協立山(株) &gt;</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>内付換気ガラリ窓 &lt; 出典：不二サッシ(株) &gt;</p> </div> </div> <p>・解放制限付きサッシ、面格子付窓などもサッシの取替え時にオプションとして選択できる。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>室内側 有効開口幅 110mm オプション ※縦無タイプも用意しています。</p> </div> <div style="text-align: center; margin-left: 20px;">  <p>有効開口幅 約85mm オプション</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">&lt; 出典：三協立山(株) &gt;</p>

共同住宅のタイプごとの技術の適用	技術の種類	調査・診断技術 改修技術（劣化を補修する技術 性能を向上させる技術）	
	共同住宅のタイプごとの適用可能性	S55 年以前供給 中層階段室・壁式(総プロA1)	使われる可能性が相当ある
		S55 年以前供給 高層・ラーメン(総プロA2)	使われる可能性が相当ある
		S56～H2 年供給(総プロB)	使われる可能性が相当ある
		H3～12 年供給(総プロC)	使われる可能性が相当ある
		H13 年以降供給(総プロD)	使われる可能性が相当ある
	(補足)		
常にセットで利用される技術			
技術が適用される建物の部位	共用部分 ( 躯体・外壁 屋根 建具 設備・配管等 その他共用部 ) 専有部分 ( 設備・配管 その他専用部分 ) 設置・運営等で建築基準法以外に注意すべき主な法令がある設備 ( ) 注意すべき主な法令 ( )		
団地で適用した場合のメリット	住棟まわりの土地が利用できること(仮設以外)( ) まとまった土地が利用できること(仮設以外)( ) 住宅の数が多く密度が高い(同じ寸法の部材が多く発注できる ) 特定の設備があること( )		
足場の設置が必要	必要 不要 (ベランダ、通路などがない箇所では必要 )		
工事による居住者への影響	数日以上居住できない住戸が発生	該当 非該当 (サッシを交換する際、サッシ交換工法(カット工法)を採用する場合)	
	一時的な影響が発生	断水などライフラインが一時的に利用不可 振動 騒音 粉塵 臭気 その他専有部分又は専用使用部分に対する制限 (一時的にベランダへの通行不可 )	
	工事後に続く影響が発生	専有部分又は専用使用部分の使用に対する制限 (サッシ交換と同時に取付ける場合は、開口寸法の減少などの影響がある。(サッシ交換工法参照)) 日照・採光等への影響( )	
当該技術が利用される工事	計画修繕工事(劣化の補修 性能の向上) 耐震改修工事(耐震性の向上 他の性能の向上)		
技術的限界			
参考資料	技術情報		
	価格情報		